

第30回
ジュニア知事さん
入選作品集



令和4(2022)年度

四年生

栃木パフェコンテスト

「子ども市長」がみりよくをアピール
み力的なふる里・栃木県ではたらこう

栃木の自然が世界を救う！

とちまるおかえりハウス

真岡市立真岡小学校

上杉 愛莉・・・

1

大田原市立紫塚小学校

小野崎 莉帆・・・

2

宇都宮市立西原小学校

片岡 望・・・

3

小山市立間々田東小学校

糸川 永瑠・・・

4

真岡市立真岡小学校

後明 結菜・・・

5

五年生

雷で生活を豊かに

世界へ届け栃木県メタバース

動物達にも住みやすい県

伝統行事を大切にする栃木県

養殖場を作りたい

那須塩原市立東小学校

池井 侑久・・・

6

大田原市立西原小学校

沖 遥真・・・

7

栃木市立栃木中央小学校

田上 純充・・・

8

小山市立小山第一小学校

中村 颯馬・・・

9

栃木市立皆川城東小学校

野原 琉貴・・・

10

六年生

栃木県メンカラ作戦

エネルギー技術最先端県を目指して

栃木県の障害者施設

私が思う夢の街

ハイブリッドとちぎ

高根沢町立北小学校

栗原 花音・・・

11

小山市立小山城東小学校

小池 輝珀・・・

12

那須塩原市立東小学校

小池 颯星・・・

13

栃木市立栃木中央小学校

佐藤 心音・・・

14

益子町立七井小学校

那花 紗希・・・

15

とちぎの未来をつくる皆さんへ

小学校四・五・六年生の皆さんから、「もし私が知事になったら、こんなことをしてみたい」というテーマで作文を募集したところ、一、三二六名の皆さんから応募をいただきました。本当にありがとうございました。

わくわくするような夢あふれる作品もあれば、栃木県の魅力をたくさんの人に知ってもらうための提案をつづった作品もあり、内容はさまざまですが、どの作品にも共通しているのは、「ふるさと」とちぎ」をより良くしたい」というまっすぐな想いです。皆さん一人ひとりが、栃木県の将来について真剣に考えてくださっていることを、心からうれしく、また頼もしく思っています。

未来の栃木県をつくる皆さんにお願いです。これからも、ふるさとを大切に思う気持ちを忘れず、栃木県への愛着を深めていってください。そして、ともに力を合わせ、未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持てる栃木県を築いていきましょう。

令和四年十二月十二日

栃木県知事

福田 富一

栃木パフェコンテスト

真岡市立真岡小学校 四年

うえすぎ
あいらり
上杉 愛莉

わたしが、栃木県の知事になったら、栃木パフェコンテストを開きます。なぜなら、わたしは、パフェが大好きだからです。けれどふつうのコンテストではなく、とくべつなルールを決めたいと思います。それはすべて、栃木県産にすることです。わたしは、お父さんから「ちさんちしよう」が大切だと教えてもらいました。すべて栃木県産の食材をつかうルールにしたら、農業で働く人たちと、もっと仲良くなれると思っています。

わたしの作る「栃木パフェ」は、フルーツで、いっぱいです。イチゴとメロンは真岡、スイカは、大田原、生クリームは、那須の牧場から作ります。トッピングに、もて木のゆずを使い、あますぎないように工夫します。

栃木パフェコンテストを開き栃木県のおいしいものをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思っています。

「子ども市長」がみりよくをアピール

大田原市立紫塚小学校 四年

おのざき
小野崎
りほ
莉帆

わたしが栃木県知事になったら、栃木の市町に「子ども市長」をつくりたいです。

に会ぎにさんかして意見を言います。そこで、他の子ども市長とも、意見の交かんをします。

わたしたちが住む栃木県は、市町によっていろいろなかだいがあります。そこで、まず大人と同じように市長選を開きます。市長になりたい子どもに立こうほしてもらい、さらに子どもたちにも投ひょうをしてもらいます。投ひょうに行くことで、しょう来、選きよにも関心をもってもらえるからです。

子ども市長が決まったら、大人といっしょ

を全国にアピールしていきたいです。栃木から「子ども市長」が全国に広まり、他県との交流の中で、さらに栃木のみりよくを全国にアピールしていきたいです。

み力的なふる里、栃木県ではたらこう

宇都宮市立西原小学校 四年

かたおか
片岡

のぞむ
望

栃木県内の高校を卒業した学生の約8割が

県外の大学へ進学し、栃木県の会社を知らな

いまま東京で仕事をするという話を聞きました

た。東京はみ力的な街だと思えますが、ぼく

が住んでいる宇都宮の中心部は都会ですが、

郊外へ出ると、自然豊かでおいしい農産物が

たくさんとれます。また、内陸型工業団地が

いくつもあり、商、農、工のバランスのとれ

たすばらしい都市です。地元のみ力に気付か

ないまま県外で仕事するのはとてももったい

ないことだと思っています。

ぼくが知事になったら小学生向けの企業説

明・体験会を開きたいと思っています。県内には

世界トップシェアの企業もあります。そのよ

うな企業をよび、企業について説明をしても

らい、小学生が学びます。また仕事体験コー

ナーを作って、実際に仕事の一部を体験でき

たら、十年経ってもずっと記憶に残り、例え

県外に進学しても、ふる里の栃木へ帰って県

内の企業ではたらく学生が増えると思います。

栃木の自然が世界を救う！

小山市立間々田東小学校 四年

くめかわ
永川 永瑠 える

ぼくは、昆虫が大好きです。

昆虫は、小さいけれど、人間にはとても真似することのできない優れたとき能や体のつくりを持っているすばらしい生き物です。その昆虫の特性を生かして、色々な技術開発がされています。それを、「バイオミメティクス」といいます。

例えば、蚊の針を真似して刺しても痛くない注射針ができたり、虹色にかがやくタマムシの皮ふを真似してきれいに光る金ぞくが作

られました。

ぼくの住んでいる栃木県は、自然がいっぱいです。だから、昆虫だけではなくたくさん動物や植物が生きています。そんな大自然の中に、世界も注目するバイオミメティクスの開発施設を作りたいです。そして今、世界の人々が取り組んでいるSDGsを解決する技術を開発したいです。生き物にはそれを可能にするヒントがまだまだたくさんあるとぼくは信じています。

とちまるおかえりハウス

真岡市立真岡小学校 四年

後明 ごみょう
結菜 ゆな

わたしの家は、とも働きです。お母さんの
仕事が進む日には家にいて「おかえり。」

て言ってくれるけど、お母さんがいない日は、

一人です。お母さんも少しさみしいです。わ

たしの家の前には、お年よりが利用している

デイサービスがあります。前を通ると、いつ

も昔の歌や楽しそうな笑い声が聞こえてきて、

わたしまで楽しい気持ちになりワクワクしま

す。そこで、もしわたしが知事になったら、

お年よりと放か後子どもが安心してすごせる

「デイサービス」とちまるおかえりハウス」を

作ります。お年よりが勉強をみてくれたり、

おやつと一緒に作って食べたり、昔の話や歌

など教えてもらったりお話ししたりとお家のよ

うに楽しくすごせる場所それが「とちまるお

かえりハウス」です。ここがあれば、さみし

い思いをしている子どもがいなくなり、お年

よりのにんちしようよぼうや、いきがいにつ

ながると思います。わたしは、もっといきい

きと笑顔あふれるとち木県を作りたいです。

雷で生活を豊かに

那須塩原市立東小学校 五年

池井いけい
侑久たすく

ぼくはこの前、目の前の道路にもものすごい音と光の雷が落ちたのを見て、とてもびっくりました。栃木県は雷が多い県です。ぼくは雷がこわいし、いやだなと思っていました。でも、その雷を活かせないかと考えました。

そこで、ぼくが知事になったら雷研究所と雷発電所をへい設した雷テーマパークを作りたいです。

もし雷のエネルギーを電気に変えることができたなら二二〇〇世帯分の電気一日分に相当

するそうです。雷発電には、まだたくさん問題がありますが、雷研究所でその問題を解決したいです。雷発電は再生可能エネルギーなので、SDGsにもこうけんでき、クリーンな栃木県をアピールできると思います。

雷テーマパークでは、雷発電の電気で動く乗り物に乗れたり、安全な場所からはく力のある雷ショーを観たりすることができます。

マイナスなイメージの雷をプラスにして、栃木県をもり上げていきたいと思います。

世界へ届け栃木県メタバース

大田原市立西原小学校 五年

沖 おき
遥真 はるま

ぼくは、メタバースという仮想空間の中に
栃木県を創りたいと考えています。なぜなら、
仮想空間に栃木県を創ることで、県外や世界
中の人々が栃木県を見に来てくれると思うか
らです。世界遺産である日光東照宮やスポー
ツの試合などに多くの人が訪れてくれて栃木
の魅力をアピール出来ます。県内の観光地な
どをメタバースでめぐってもらい、おみやげ
を買ってもらえると地域の発てんにつながる
はずです。

メタバースを創りたいもう一つの理由は、
身体が不自由な人でも、メタバースの世界な
ら自由に行動が出来ると思うからです。いま
で行けなかった場所に行けるようになり、よ
ろこんでもらえると思います。メタバースで
行った後、本当に栃木県に行きたいと思っ
たら、移住してくれたりする人が出てくると思
います。

ぼくはこの栃木メタバースで栃木県のみり
よくを発信していきたいです。

動物達にも住みやすい県

栃木市立栃木中央小学校 五年

たがみ すみ
田上 純充

僕が知事になったら、栃木県の魅力を上手に発信して、都道府県魅力度ランキング上位を目指したいです。

新たな取り組みとして、栃木県初のペットの犬猫にもマイナンバーカードを発行するという取り組みをしたいです。なぜなら、去年家族五人分のマイナンバーカードを作りましたが、大切な家族であるうちの猫にも作ってあげたいと思ったからです。マイナンバーカードを作り、マイクロチップとデータを共有

し、飼い主の情報だけでは無く、予防注射や去勢避妊手術のりれき確認が出来るようにし、毎年きちんと予防注射をするごとに、マイナンバーポイントがもらえるようにしたいです。そして、おやつやおもちやと交換できるようにしてあげられるようにしたいです。また、ペットと行けるカフェや施設をもっと増やし、都道府県魅力度ランキング上位になり、人だけではなく、ペット達にも住みやすい県として新たな発信をしていきたいと思っています。

伝統行事を大切にする栃木県

小山市立小山第一小学校 五年

なかむら ふうま
中村 颯馬

ぼくは、地いきの行事が大好きだ。ようち園児だったころは、毎年みんなで『生井くわつみうた』をおどったり、太こをたたいたり、『じゃがまいた』を見に行ったりした。このような『地いきらしさ』を感じる時間は、ぼくにとってとても大切だ。だからぼくは、地いきの特色ある行事を、みんなで理解して、みんなで楽しめる栃木県が良いと思う。ぼくが知事になったら、知事のぼく自身が色々な行事を体験して、県全体がよく分かる

人になりたい。そして、ぼくが今習っているプログラミングを生かし、県の行事専用サイトを、県民みんなで作りたい。色々な行事を参加型配信サービスによって、ライブでも参加して楽しめるようにしたい。また、過去の動画を県民から集め、アーカイブからも観られるようにしたい。そして、ぼく自身は県内を実際に歩き回り続け、足を運べる人には、どんどん実際に体験してもらい、みんなで伝統行事を大切にできる栃木県にしたい。

養殖場を作りたい

栃木市立皆川城東小学校 五年

野原 琉貴
の は ら
る き

僕は魚が好きです。しかし栃木県には海がなく新鮮な魚が取れません。だから、僕は父から「栃木県で食べる魚の味は、海有り県の味と比べると、どうしても負けてしまう。」

と聞いたことがあります。そこで、僕が知事になったら、栃木県に大きな養殖場を作り、栃木でも美味しい魚が食べられるような環境作りをしていきたいです。

また、この養殖場には水耕農場を併設し、養殖で使った水を処理し、いちごなどの農作

物に肥料として与え、さらに、農作物のプランターによってろ過された水を再度処理して、養殖用の水に使用することで、節水も意識した環境にやさしい循環型の複合施設にします。

海なし県だからこそ、このような取り組みを行えば他県へのアピールにもつながり、栃木の魅力も上がるのではないかと思います。そしていつの日か、父も納得するような、美味しい地産の魚が食べれる日がくるといいなと思います。

栃木県メンカラ作戦

高根沢町立北小学校 六年

くりはら
栗原 花音
かのん

栃木県は良いところがたくさんあります。

全国の人にまず栃木県に関心を持ってもらわなければ、その魅力を伝えられません。

アイドルグループにはメンバー一人一人に担当する色があります。いわゆる「メンバーカラー」(メンカラ)です。栃木県には十四市十一町の二十五市町があります。この二十五市町ひとつひとつに「メンカラ」をつけます。

例えば私の住む高根沢町は、田んぼの緑がきれいなので「若草色」。雷都、宇都宮市は「黄

色」。世界遺産がある日光市は「金色」。さくら市は「桜色」。那珂川町は「鮎色」。真岡市は「苺色」。益子町は「土器色」。下野市は「干瓢色」。足利市は「藤色」。野木町は「向日葵色」。栃木市は「墨色」。鹿沼市は「つつじ色」などです。

なぜこの市町はこの色なのだろう、と少しでも興味を持ってもらえたら、メンカラ作戦大成功です。二十五色の「チームとちぎ」が栃木県の魅力を全国に発信して、もっともつと栃木県を盛り上げていきたいです。

エネルギー技術最先端県を目指して

小山市立小山城東小学校 六年

こいけ
小池 輝珀 きは

僕が知事になったら、栃木県をエネルギー技術最先端県にしたいです。

栃木に限らず日本は、電力の七十六％を火力発電で賄っています。その為、二酸化炭素が排出され、温暖化に拍車をかけています。

更に、今年の夏には国からの節電要請もありました。特定の発電方法だけに頼る現在のままではまずいと思い、栃木の特徴を活かした多様な発電をすることを考えました。

例えばバイオ発電。栃木は工場が多く、農

畜産業も盛んです。そのゴミや排泄物を燃やして発電すれば、化石燃料を使用しません。

又、最新技術を積極的に取り入れます。例えば、乗り物の振動を利用した振動発電、騒音を利用した音発電等があります。多様な発電方法ならば、燃料危機や災害時も安心です。

そして将来、栃木県の電力は県内の環境配慮型発電のみで賄います。その発電モデルを発信し、栃木県は世界に注目され、安全に暮らせる、エネルギー技術最先端県になります。

栃木県の障害者施設

那須塩原市立東小学校 六年

こいけ
小池

はやせ
颯星

ぼくが知事になったら、栃木県に障害のある人が参加できる運動施設が少ないので、作りたいです。

なぜなら、ぼくは、車イスに乗っているのですが、施設があまりなく、やりたい好きなスポーツなどができないからです。

そのために、障害のある人が参加できる運動施設を作り、みんなにいっぱい運動をしてほしいです。

そうすることで、栃木県からスポーツ選手

が生まれ、いずれパラリンピックに出る人が出てくるかもしれません。それで栃木は有めいになり、やがて日本中、世界中から観光客が増え、栃木の売上が上がり、そういった施設をさらに強化できると思うからです。

これらの理由から、ぼくが知事になったら、障害のある人が参加できる運動施設の量を増やして、みんなが運動をして健康でいられるようにしていきたいです。

私が思う夢の街

栃木市立栃木中央小学校 六年

佐藤 さとう

心音 ここね

もし、私が知事になったら、福祉のテーマ

クッションをつくりたいです。

パークをつくりたいです。理由は、障害の方や高齢の方が健康な人たちと同じぐらい楽しんでほしいからです。安心安全なテーマパークを私は、つくりたいです。

二つ目は、動物園です。例えば高齢の方などが動物とふれあえるコーナーや障害者の方で目が見えない人が楽しめるように、動物の鳴き声が聞こえるスピーカーみたいなものを設置したいです。

一つ目のテーマパークは、遊園地です。障害者の方だけがのれる遊園地をつくりたいと思います。例えば、車イスの人が車イスごと乗れるジェットコースターや目が見えない人のための色々な音や風を感じられるアトラ

このように、障害者の方や高齢者の方が楽しめるための遊園地や動物園など世界だれもが楽しめるテーマパークをつくりたいと思います。

ハイブリッドとちぎ

益子町立七井小学校 六年

なばな
那花
さき
紗希

もし私が知事になったら、とちぎのハイブリッド化を進めて、ふるさととちぎを日本一住みやすい県にしたいです。

とちぎハイブリッド計画は、田舎と都会のハイブリッドです。私はとちぎの田舎の部分と都会の部分の両方が好きです。田舎の部分のよさは自然の豊かさで、都会の部分のよさは便利なところです。でも、今のとちぎは宇都宮市や小山市などの一部分だけが都会で山が多いところは田舎ばかりです。もっと田

舎の部分と都会の部分の割合が半分になると、とちぎに住む人たちがみんなが住みやすくなると思います。

そのためには、とちぎ全体を区画整理して自然がある所、人が住む所、お店がある所、工場がある所など、バランスよく考えたまちづくりをすることで、豊かな自然も便利さもどちらも丁度良く感じられるようにしていきたいです。これからもっととちぎが住みやすくなり、日本一の県になったらうれしいです。

令和四年度「ジュニア知事さん」には、

県内の小学校四・五・六年生のみなさんから、

一、三二六点(四年生 三七九点、五年生 四三九点、

六年生 五〇八点)の応募がありました。

なお、知事賞の選考にあたりましては、下記の

方々に選考委員として御協力いただきました。

選考委員

(敬称略)

栃木県おもちゃ図書館連絡会 会長

下野市おもちゃの図書館 館長

大家 薫

栃木県小学校教育研究会 国語部会長

宇都宮市立横川東小学校 校長

高島 俊幸

栃木子どもの本連絡会 会長

大音 由里

文星芸術大学 名誉教授

林 香君

栃木県子ども総合科学館 館長

神山 正幸



6月15日は
県民の日



2023 年は

栃木県誕生150年